

令和元年度

たがいにひびき合う学校

～学び合う・認め合う・生かし合う～

学校運営協議会だより

横浜市立富士見台小学校
学校運営協議会 事務局 発行 第3号
令和2年1月7日

様々な立場の方が、様々な方法で、子どもたちを支えています。



令和元年12月13日（金）17時00分より、本校会議室にて第3回富士見台小学校学校運営協議会が開催されました。前号でもお知らせしましたが、本校の学校運営協議会は、3つの推進委員会と14の部会から構成されています。

第3回の学校運営協議会では、前期後半及び後期前半の教育活動についての報告が部会ごとに各委員及び事務局より報告され、その報告をもとに様々な意見が交わされました。今回も、特に話題に上がったことについて、お知らせいたします。

◎第3回の様子

○小中一貫教育について（小中一貫教育部会より報告）

本年度も、様々な形で岩井原中学校と稲荷台小学校と交流していることが報告されました。8月23日には教職員が集まり、新しい教科書を見ながら、情報を共有したこと、8月22日、29日には、岩井原中ブロック、西区ブロックで「横浜こども会議」が開催されたこと、10月4日の児童生徒交流日には、部活動見学も行われたこと、などが報告されました。また、10月30日には、中学校の合唱コンクールで金賞を獲得した2年生が、来校して、素晴らしい合唱を披露してくれました。フェスタの直前ということもあり、子どもたちがとても興味をもって聴くことができたとの話がありました。



○ふれあいフェスティバルについて（学校評価部会、学校防犯部会より報告）

・11月に行われた「ふれあいフェスティバル」について、保護者の方にいただいたアンケート結果をもとに、成果や課題が報告されました。本年度は、「入場の仕方が分かりやすく場外の混乱がなかった。」「入れ替え制にしたことで、自分の子どもの演奏をゆったりと鑑賞できた。」という意見が大変多かったのですが、その反面、「少し盛り上がり欠けるのではないか。」「他学年の演奏が見られず残念だった。」



という意見も多数あったことが報告されました。この2点については、両方を解決することは難しいと感じていますが、次年度に向けてさらなる改善に取り組んでいこうということが確認されました。
(学校評価部会)

・『ふれあいフェスティバル』での、レインボーに分けられた学年ごとのIDカードがとても有効であり、IDがない方への対応もよくできていたので、来年度も続けるとよいという報告がありました。
(学校防犯部会)

○「ボイス・オブ・富士見台☆岩井町原」について（健全育成部会より報告）

『ボイス・オブ・富士見台☆岩井町原』では、今年も子どもたちの声を聞くことができ、とてもよかったとの報告がありました。特に5・6年生の発表が素晴らしく、準備等大変であったと思いますが、来年もよろしくお祈いします、とのことでした。

○その他意見交換 ～協議委員の方のご意見～

- ・初めて受付に立ちました。カードが色別になっていて、とてもよかったです。体育館の中の様子が見れなかったのは残念でしたが、混乱なくできた聞き安心しました。
- ・ミュージックフェスタでは、入れ替えにしたことで、もっと他も見えたかったという意見も多く聞きました。分かりやすい面もありますが、みんなの気持ちが満たせるよい方法がないかと思っています。
- ・子どもが、よく体力が低い言っています。放課後、外で遊べる場所が少なく、どうやって体力を向上させるといいのか、体力向上のために効果的な方法がないか考えているところです。
- ・毎年、中学校の合唱コンクールを鑑賞しています。年々、上手になっています。それは、富士見台小、稲荷台小、両方の取組あってではないかと思っています。フェスティバルを第1回から経験している者としては、とても楽しませてもらっている行事です。
- ・ミュージックフェスタのアンケートを見ると、他学年の演奏を見たいという意見が多かったようです。どうにかこれを解決できないかと思えます。
- ・小学校と中学校では、学校運営協議会のもち方かなりの違いがあると感じます。小中で互いに見合うこともよいのではないかと考えます。
- ・PTAも働き方改革をしています。うまく仕事内容を厳選して活動していきたいと思えます。
また、挨拶の件ですが、他の小学校に行ったとき、子どもたちから挨拶をたくさんしてもらい、やはり、富士見台はできていないと感じました。大人も元気な挨拶をして、挨拶ができる学校にしたいです。

次回、第4回の学校運営協議会は、2月14日（金）に予定されています。